

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【公開番号】特開2000-328817(P2000-328817A)

【公開日】平成12年11月28日(2000.11.28)

【出願番号】特願2000-129778(P2000-129778)

【国際特許分類】

E 05 B 1/00 (2006.01)

【F I】

E 05 B 1/00 3 1 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月1日(2007.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ハンドル本体と；

上記ハンドル本体内のキャビティと；

上記キャビティ内にある取付けブロックと；

上記取付けブロックから突出した回転部材と；

上記キャビティ内でそれぞれが1つの回転部材と回動できるジャーナル軸受と；

上記回転部材が上記ジャーナル軸受と回動係合して前記ハンドルが取付けブロックに対して第1と第2の位置の間で回動できるように上記キャビティ内に上記取付けブロックを保持する保持部材と；

上記キャビティ内に設けられ、上記回転部材がスライドしてこのキャビティ内に取付けブロックを位置づける端部開放の溝と；

から構成されることを特徴とする折畳式ハンドル。

【請求項2】取付けブロックが、軸の端部を受ける第1の穴と、第1の穴と交差する第2の穴とを有しており、第2の穴は、回転可能な要素が第1の穴に位置しているときに、取付けブロックを上記軸に固定するための固定具を受容することができる請求項1に記載のハンドル。

【請求項3】回転部材が反対方向に突出している一対の栓を含む請求項1に記載のハンドル。

【請求項4】キャビティが、対向する側壁を含み、上記端部開放の溝は各側壁に形成され、前記溝はジャーナル軸受の表面と連接している請求項1に記載のハンドル。

【請求項5】第1の位置および/または第2の位置を決定する取付けブロックに係合する接触面を更に有する請求項4に記載のハンドル。

【請求項6】ハンドルが第1の位置および第2の位置の一方または両方にあるときに取付けブロックに対するハンドルの運動に抵抗する抵抗機構を更に含む請求項4に記載のハンドル。

【請求項7】保持部材が移動止め作用を与える請求項1に記載のハンドル。

【請求項8】保持部材が、取付けブロック内の少なくとも1つの移動止めに係合するようになされた末端を備えるカンチレバー形クリップである請求項7に記載のハンドル。

【請求項9】取付けブロックが離間した一対の移動止めを有する請求項8に記載のハンドル。